

事務事業名	藤本四八写真文化賞事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	美術博物館	H29係等名	学芸係	H28担当課等名	美術博物館			
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
	施策	29	ふるさと意識の醸成					
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の住民数 2 全国の写真家、写真愛好家		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 写真家藤本四八氏を顕彰し、市民周知を図る。 2 写真芸術を通じて、写真文化の意識を高める。			圏域住民数(人)	160827		
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術活動に無縁な生活を送っている人の割合(%)						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	飯田での展覧会(隔年開催)の観覧者数(人)		0	0	1500	1062	
	成果指標	公募(隔年開催)の部応募点数(点)		40	36	-	-	
定性目標								
事業概要	<p>1 飯田市出身の写真家・藤本四八氏の業績を称えらるとともに、飯田市さらに日本の写真文化芸術の向上発展に寄与する事業として、平成9年市制60周年記念事業として始まる。</p> <p>2 賞は2年に1回のサイクルで実施し、第1年目には募集と審査を〔予算規模約100万円〕で、第2年度には賞の発表と授賞式、受賞写真の展覧会(飯田・東京)を〔予算規模約230万円〕で行う。</p> <p>3 第10回の賞は「藤本四八写真文化賞」(推薦の部)、「藤本四八写真賞」(公募の部)からなる。</p> <p>4 第10回は、授賞式を飯田で開催。受賞作品展は飯田を初会場とし、次いで東京で開催する。</p> <p>※第10回をもって本事業は終了することとなった。</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 第10回授賞式 日時:5月14日 会場:飯田市・美術博物館			1 授賞者数		1 2人		
	2 展示 (1)第10回受賞作品展〔飯田展〕 日時:5月14日～6月26日 会場:美術博物館展示室B (2)第10回受賞作品展〔東京展〕 日時:6月30日～7月6日 会場:キャノンギャラリー(東京銀座) (3)歴代受賞作品展 日時:5月14日～6月26日 会場:美術博物館展示室A			2 展覧会数		2 3回		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	1,095	4,807	4,337	0	(国)社会資本整備総合交付金(市街地整備)(4.5/10)			
国庫支出金		369	283					
県支出金								
起債								
その他	102							
一般財源	993	4,438	4,054					
人件費計(千円)②	0	0	0	0				
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	1,095	4,807	4,337	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	最後の授賞作品展を開催した。飯田出身の写真家藤本四八氏の顕彰については20年間10度の賞において全国的にもPRでき、役割を果たすことができた。また、写真文化の啓発普及についても、美博の市民ギャラリーでの写真展の盛況や写真雑誌の刊行など貢献することができた。							
改革改善の考え方	①問題点	本事業が当初目的とした藤本四八氏の顕彰、写真文化の向上についてはすでに一定の役割を果たしており、また市民の写真発表の場が他に十分確保されるなど本賞の役割はほぼ終えたといえる。						
	②改革提案	本事業は第10回をもって終了する。美術博物館として、今後、写真を含めた子どもの創作・研究活動の支援に力を注いでゆく。						